

## 第 27 回堺市新型コロナウイルス対策本部会議議事要旨

日 時：令和 3 年 7 月 9 日（金） 午前 11 時 00 分～11 時 40 分

場 所：堺市役所本館 3 階 大会議室

- 議 題：1. 本市の新型コロナウイルス感染症患者の状況等について  
2. 大阪府の要請内容等について  
3. 国・大阪府の対応を踏まえた今後の本市の対応について  
4. 本市のワクチン接種の状況について

### 【開会にあたり市長より】

- ・大阪府に発出されているまん延防止等重点措置期間が 8 月 22 日まで延長となった。市内の感染状況を見ると、4 月末から 6 月末にかけては新規陽性者、感染経路不明者ともに減少傾向にあったが、7 月に入ってから増加傾向が見られる。
- ・本市では、高齢者へのワクチン接種が進んでいる。ただし、十分な免疫ができるには、2 回目接種後さらに 1 週間が必要であり、延長期間中に感染拡大を抑えられるかが極めて重要。
- ・まん延防止等重点措置が始まった 4 月 5 日から、緊急事態宣言期間をはさんで 6 月 21 日から再度のまん延防止等重点措置期間となり長期間に渡っている。期間が長くなると、どうしても感染防止の意識が薄れてしまう。
- ・昨年は、第 2 波が夏に生じた。今年も夏を迎えるにあたり厳重な警戒が必要。
- ・本日は、まん延防止等重点措置期間の延長に伴う対応と夏に向けての対策を協議したい。

### 【議題説明及び質疑】

#### 1. 本市の新型コロナウイルス感染症患者の状況等について（健康福祉局長）

（※資料 1 参照）

- ・直近 1 週間の新規陽性者に占める 60 歳代以上の割合は 16%。ワクチン接種が進んだことで減っているのではないかと考えられる。

（中野副市長）

- ・東京では陽性者の 3 割前後をデルタ株が占めており、19 日間連続で前週同曜日の新規感染者が増加している。
- ・昨日の大阪府の本部会議において、大阪は東京の 2 週間遅れで影響が生じるとされており、本市の直近の感染状況が上昇傾向にあることに注意しなければならない。

#### 2. 大阪府の要請内容等について（危機管理監）

（※資料 2 参照）

- ・府民への呼びかけの内容は、2 人以下のマスク会食の徹底が 4 人以下に変更。
- ・飲食店等への要請は、同一グループの入店を原則 2 人以内から 4 人以内に変更。
- ・1,000 m<sup>2</sup>を超える大規模商業施設等への要請は、営業時間 20 時までが 21 時までに変更。
- ・1,000 m<sup>2</sup>を超える運動・遊技施設等への要請は、イベント・イベント以外の区分なく 21 時までに変更。

#### 3. 国・大阪府の対応を踏まえた今後の本市の対応について（危機管理監）

(※資料 3 参照)

- ・これからお出かけや旅行等の外出の機会が増えるシーズンを迎える。
- ・昨年度の感染拡大の教訓を踏まえ、感染の拡大を防止するため、夏に向けての市民の皆様へのお願いを発信していく。
- ・府有施設の営業時間は 21 時までとされているが、増加傾向の見られる本市の感染状況を踏まえ、市関連施設については 20 時までとする対応を継続する。

(市長)

- ・まん延防止等重点措置期間が終了する 8 月 22 日までには、本市の 50 歳以上の多くの方がワクチン接種を受けていることが見込まれる。それまでになんとしても感染急拡大を防ぐため、大阪府よりも厳しい措置をとる。
- ・ただし、期間が 1 か月以上ある。緩和については慎重に検討すべきではあるが、今後の感染状況を注視しながら見直すことも検討する。
- ・夏を迎えるにあたり、熱中症にも注意が必要。熱中症対策として、学校における体育の授業では原則としてマスクを着用しないことを決定している。
- ・市民の皆様にも、熱中症の正しい知識や対策について呼びかける必要がある。市民の皆様をコロナウイルスからも熱中症からも守るという意識を持って取り組むこと。

(危機管理監)

- ・夏に向けての市民の皆様へのお願いのポスターのピクトグラムにおいて、マスク着用による熱中症のリスクを考慮し、マスク着用だけを要請するのではなく、マスク以外の方法も含めて飛まつを防ぐことが重要である旨を啓発する。

4. 本市のワクチン接種の状況について (健康福祉局理事)

(※資料 4 参照)

- ・国からのワクチン供給数が大幅に減少しているため、当初予定していた 40 歳から 49 歳の方の予約受付開始を 2 週間延期することとなった。

(市長)

- ・40～49 歳の方のワクチン接種を延期することは苦渋の決断であった。
- ・ワクチン供給数が大幅に少なくなっており、ワクチン不足の報道がされているため、早く接種を受けたいという心理になっておられる方も多い。しかし、まずは重症化リスクの高い方に受けていただくため、40 歳代の方には少しお待ちいただきたい。
- ・10 月末までに希望する全ての市民の方へワクチン接種するというスケジュールは変更しない。安全に 1 日でも早く 1 人でも多くの方に接種いただけるよう全力で取り組むこと。

**【閉会にあたり市長より】**

- ・まん延防止等重点措置の延長期間においては、感染対策への強い意識を保てるか否かがポイントになる。
- ・職員の意識が緩んでいると感染対策に対する呼びかけの説得力も信頼も損なわれる。市民の皆様に分たちも協力しようと思っただけけるよう、改めて気を引き締めて臨むこと。
- ・自身や部下の体調にも気を配り、一丸となって乗り切っていただきたい。